

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 7 日（水） 9：59～11：49

場 所：南学田公民館

出席者：12 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※資料確認

3. 説明事項

(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）

※質疑応答

4. 懇談

(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）

※自由懇談

5. 閉会

《懇談会内容》

質疑：ごみの分別はどのようになっていくのか、情報は？

町長：焼却処分となるので、今までのような細かい分別ではない。資源ごみは引き続きある。分別の仕組みが決定するまで今の分別を続けるのか、ということもあるが、埋立施設を延命させるため分別する必要がある。焼却になった後も、焼却灰は各町に持ち帰り埋め立てるので、埋立施設の余力を残す必要がある。埋立施設も広域でつくるか、という話もあるが、確定ではない。平成 36 年まではご協力いただきたい。

質疑：妊婦タクシーに関連して、今はどこで受診しているのか。近いところはどこか。

福祉課：近隣は岩見沢市・江別市。岩見沢市に半数程度が受診。その他、里帰り出産などにより道内各地で受診している。国からの補助で、25km を超えると交通費の助成があるが、栗山～岩見沢は 25km 未満なので、助成がでない。そのため、タクシーを使うことも含めて制度設計していく。

町長：以前は、国崎医院があったが、今はない。子育て世代に対する政策に重点を置く必要がある。その政策によって本町に来ていただけるようにしたい。

要望：育児応援企業奨励金制度があるが、農業についても法人化して行っているところもある。妊娠・出産の際は手伝いができなくなってしまうので、農業も育児応援企業奨励金制度の対象にならないか。

町長：そこまではできない。農業法人で働いている方は踏み込んでいけるのでは、と思うが、世帯の中の話では当てはまらないのかな、と。まず、担い手対策が必要なので今進めている新規就農を優先して進めていく。後継者の新規就農についてしっかりやっていきたい。

意見：実質、地方は疲弊している。農業は、規模を拡大していかなければやっていけない。日本は土地、作物の関係もあって、上限がある。園芸野菜は労力がいる。海外から人を連れてくれば、というのもあるが、安い賃金で働いてくれる人も減っている。アメリカでもその状態。

国の農政にもよるが、今の規模で夫婦と子ども2人が生活できると思うが、T P Pの問題もあるし、国の絡みもある。農家戸数が減っていけば、会社も来ないし生活基盤がない。

町長：海外の人は農業1号に該当する。国の方は、海外から労働力を入れる方向で、国策として進めているところもあるが、本町としては、まちとして担い手を確保していく。地震のとき新規就農の方の話を聞いたが、路地などは収益が上がらない中で、販路拡大の話をしたい、との声があった。農業振興公社で取り組むようにし、補助が終わった後も自立してもらうように対応していきたい。

要望：新規就農の件で、公社を通して就農している人もいるが、覚悟がない人もいる。農業振興公社は人を連れてくるが、そのあとはどこか。というとJ Aに相談に来てくれるが、J Aも組合員に対しての対応しかできない。作物を売る頃になってJ Aに来ても対応が難しい。他の農家のようになっていただきたい。来ている人も夢みtainな話をもって来ている人もいる。農業振興公社の方もしっかりして、厳しく受け入れていただいて、それなりに育成するところに預けていただいて数年後には自立していただけるようにやっていただきたい。

質疑：日赤の改築で、日本赤十字社では建物を改修するための建築費は出ないのか。

町長：今、136床あるが5年前の試算で55億円程度かかる。今はその3倍くらいになっている。本社が東京にあって、各地に病院がある。病院が赤字であっても本社から支援はない。改築の議論はいろいろあるが、総合病院はなければならない施設だと思っている。近隣も老朽化している。日赤が改築となるとお金は出ないが、貸付は上限15億円で制度がある。残り40億円をどうするか。日赤は累積赤字が多いので用意できない。町が出さなければならないが、町も国から借りる。40億円の内2〜3割は持ち出しになる。これから、日赤がやってもらうのであれば、日赤と財源の交渉もしていく。規模も小さくすれば建築費も下がる。診療科もすべて必要か議論が出てくる。議論から完成までは7〜8年かかる。震度6〜7で倒壊すると言われているので、早急に結論を出して進めていく必要がある。まずは、日赤にするか町立にするか。日赤で改築してもらってお金は町から送り込むのが良いかと思う。広域化を検討したらという話もあるが、総合病院は町の核となる施設。場所でもめる。本町に建てるとなったときもほかの町からお金を出してくれるかどうか。まずはどのようなになるか早急に議論する必要がある。

意見：栗山町スキー場は雪がなくてオープンが遅れている。栗山は雪が少ない。オープンが遅れて閉園も早く閉まってしまう。安近短が良いところと思うが、夏も利用できるように連携して何かできないかと思うが。

町長：冬はスキー、夏用の展望デッキを来年つくる。そのようなものとの連携できたら良い。

要望：孫が栗山公園に行くが地味に混んでいる。見るところがある。駐車場が混んでいるので幅して広げられないか。町外からも人を呼べないか。

町長：昨日の懇話会で、公園球場を道の駅を設置してほしいという話もあった。松原産業は、自動車学校をやめてなど話していたが、公園球場の移動というなども考えられる。4車線化の話もあるので、道の駅と絡めたらやりやすい。しかし、いろいろお金のかかる話がたくさんある。日赤やJ Rなど、まだ見えていないお金がある。今の財政でどこまでできるか。半年間やってみて、財政状況を見ていく。

意見：今年は、農家がダメ（不作）だったので、来年は税収が減るかと思う。

町長：栗山天満宮にお参りに行って、来年はいい年になるように祈願する。